

2025年 新年のご挨拶

日頃よりNDS労働組合の各種取り組みに対しご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

はじめに、「令和6年能登半島地震」の復旧・復興もままならない中、「令和6年9月能登半島豪雨」により犠牲となられた方々にお悔み申し上げるとともに、被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様の安全と、一日でも早く平穏な生活に戻られますことを心よりお祈り申し上げます。

昨年（2024年）を表す漢字は「金」となりました。「2024年パリオリンピック・パラリンピック」では日本人選手の活躍により数多くの“金”メダルを獲得され、「50-50」を達成した大谷翔平選手は2年連続3回目のMVPを獲得する値千“金”の活躍となり、「佐渡島の“金”山」の世界文化遺産登録など、光をあらわす「金（キン）」と、“金”目当ての闇バイト強盗事件や止まらない物価高騰、政治の裏“金”問題など、影をあらわす「金（かね）」の2つの意味が含まれています。

中でも、自民党派閥の政治資金パーティー収入の裏金問題に端を発した「政治とカネ」の問題では、しごりも解消されない中で実施された「第50回衆議院議員総選挙」において、立憲民主党をはじめとした野党が議席を伸ばした結果、自公を過半数割れに追い込み、一強他弱から与野党伯仲の国会運営へと変わりました。しかし、立憲民主党においては選挙区では議席を伸ばしたものの、比例得票は前回から約7万票の上積みにも留まる等、政権の批判票の受け皿としては課題の残る結果となりました。

今夏に実施される「第27回参議院議員通常選挙」に向けては、NDS労組としても上部組織と連携しながら、組合員とご家族への政治啓発の強化を図り、情報労連組織内「吉川さおり」参議院議員の四選と応援するすべての候補者の必勝に向け、法令遵守のもと取り組んで参りますので、各位のご理解とご協力をお願い致します。

さて、2025年は「巳年（へびどし）」、十干十二支では「乙巳（きのと・み）」となります。乙（きのと）は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また、巳（み・へび）は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すイメージから「再生と変化」を意味し、不老不死のシンボルともされています。そのため、乙巳（きのと・み）の年は、「努力を重ね、物事を安定させていく年」となると考えられています。

NDSグループにおいては、新中期経営計画「NDS Plus to 2031」が2024年4月よりスタートしました。エンジニアリング系ではNTT設備事業のツール化や業務の標準化等の“再生と変化”を進めつつ、新たな柱として期待される配電事業の拡大に向けた技術者育成や高速道路関連工事等の総合設備事業の拡大、ソリューション系ではグループ各社の強みを生かした事業領域の拡大やプライム顧客の確保・拡大等により事業計画の達成を目指すとされています。

NDS労組としても、社員・組合員の皆様の日頃の“努力”が賃金・一時金へと反映されるよう労使間交渉に注力するとともに、今後の柔軟な働き方への“変化”に対応できる仕組みづくりに向けた労使協議を進めつつ、引き続き労組役員の育成をはじめとした組織強化と、DXの活用による組合員の皆様との更なる接点強化につながる一年にしたいと考えております。

今後も労組の総力を結集し、すべての働く仲間が安全で安心して働ける「魅力ある職場づくり」の実現につなげていきたいと思います。

最後になりますが、組合員とご家族の皆様が、本年も幸多き一年を過ごされますよう心より祈念申し上げますとともに、旧年中と変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、新年を迎えてのご挨拶とさせていただきます。

以上

2025年1月吉日

通建連合NDS労働組合
執行委員長 南 建